

みずほCustomer Desk Report 2024/11/20号(As of 2024/11/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	154.48
TKY 9:00AM	154.61	1.0594	163.79	GBP/USD	1.2678
SYD-NY High	154.80	1.0601	163.92	AUD/USD	0.6505
SYD-NY Low	153.28	1.0524	161.50		
NY 5:00 PM	154.69	1.0597	163.90		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,268.94	▲ 120.66	日本2年債	0.5500%	0.0000%
NASDAQ	18,987.47	195.66	日本10年債	1.0600%	▲0.0100%
S&P	5,916.98	23.36	米国2年債	4.2815%	0.0023%
日経平均	38,414.43	193.58	米国5年債	4.2598%	▲0.0160%
TOPIX	2,710.03	18.27	米国10年債	4.3952%	▲0.0176%
シカゴ日経先物	38,300.00	▲ 65.00	独10年債	2.3375%	▲0.0340%
ロンドンFT	8,099.02	▲ 10.30	英10年債	4.4430%	▲0.0210%
DAX	19,060.31	▲ 128.88	豪10年債	4.5660%	▲0.0520%
ハンセン指数	19,663.67	87.06	USDJPY 1M Vol	11.36%	1.04%
上海総合	3,346.01	22.16	USDJPY 3M Vol	10.58%	▲0.01%
NY金	2,631.00	16.40	USDJPY 6M Vol	10.45%	▲0.05%
WTI	69.24	0.07	USDJPY 1M 25RR	▲1.35%	Yen Call Over
CRB指数	285.10	1.08	EURJPY 3M Vol	9.94%	0.25%
ドルインデックス	106.21	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	10.02%	0.12%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月19日	19:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	10月 2%/0.3%	2%/0.3%
	22:30	米 住宅着工件数/(前月比%)	10月 1311k/-3.1%	1334k/-1.5%
	22:30	米 建設許可件数/(前月比%)	10月 1416k/-0.6%	1435k/0.7%
	22:30	加 CPI(前年比)	10月 2.0%	1.9%

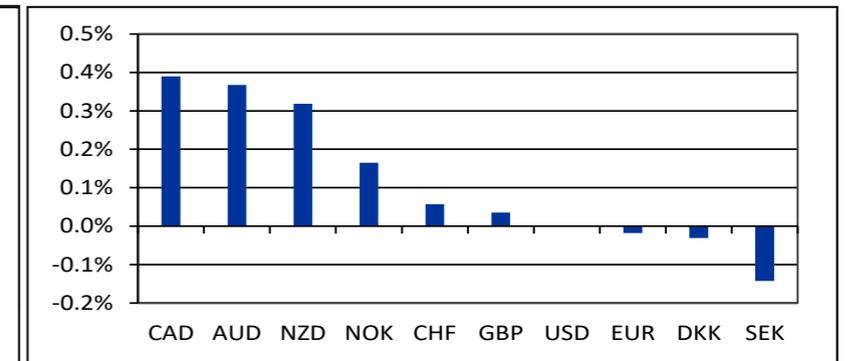
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月20日	08:50	日 貿易収支	10月 -¥391.9b	-¥294.1b
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	10月 0.2%/-1%	-0.5%/-1.4%
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	10月 0.5%/2.2%	0%/1.7%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	10月 3.1%	3.2%
11月21日	00:00	米 バーFRB副議長 講演	-	-
	01:00	英 ラムステンBOE副総裁 講演	-	-
	02:15	米 ボウマンFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-155.50	1.0500-1.0650	162.50-164.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は154円半ばで取引開始。海外時間に入るとウクライナ情勢をめぐる報道を受け、リスクオフの円買いから153.28まで急落。一巡後は米株や米金利が上昇に転じるとドル円も154円台後半まで水準を戻した。本日のドル円は上値重い展開を予想する。昨日はロシアとウクライナをめぐる地政学リスク主導の相場となった。現在はこの流れは一服しているが、しばらくは二国間の情勢への警戒感が残ると考えると、株や米金利の上昇余地は限定となることが想定され、ドル円相場の重石となるだろう。また海外時間には米半導体大手の決算が控えており、株式市場やドル円相場への影響に注意したい。

東京	東京時間のドル円は154.61レベルでオープン。仲値にかけては売り買い交錯も、その後は上値重く推移し153.96まで下落。加藤財務相からの円安けん制も相場の重石となった。一巡後は154円台半ばまで値を戻し、結局、154.58レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.58レベルでオープン。ウクライナ情勢をめぐるヘッドラインを受けて急激な円高基調となり153.28まで売られる。その後特段の材料がない中で反発し、結局153.97レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。ロシアとウクライナの紛争を巡る地政学リスクが高まり、リスク回避の円買いが進み、153.28まで下落。円買い一巡後は徐々に値を戻し、153.97レベルでNYオープン。朝方に発表された米10月住宅着工件数と建設許可件数が共に予想を下回るも、ドル円は反応薄。その後は米金利の上昇を受け、買いが優勢となり、154.50付近まで上昇する。午後は米金利が高水準で推移する展開を受け、154.80まで上値を伸ばす。その後は買い一巡となり、154.69レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半でスタート。先述の地政学リスクが高まった事を受け、独金利が低下する動きに伴い、1.0524まで下落。その後は反発し、1.0572レベルでNYオープン。午前中は特段注目材料が見当たらない中、1.0590付近を挟んだ方向感乏しい推移が続く。午後1.0590付近を中心とした動意乏しい推移が続く。1.0597レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。